学校番号	４１６

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「国語表現　改訂版」（大修館書店）						
副教材等	国語必携パーフェクト演習　改訂版（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・さまざまな文章や会話を通して、言語生活を充実させていきましょう。
・文章を書いたり、発表したり表現を中心にした授業を行います。
・問題集や提出物、小テストなどその時々に学力の定着を確認してゆきます。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい言葉を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・人間関係において、互いを尊重し相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	e:知識・理解
観点の趣旨	文章を書いたり話したりする楽しさを覚え、言語文化に対する関心を深める。国語を大事にし、「読む」「書く」「話す・聞く」「知識、理解」の向上を図ろうとしている。	内容に応じて必要なことを説明し、相手の発言を過不足なく聞き取ることができる。	自分の意見や考えを相手の理解を踏まえて表現できる。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察（学習活動への参加姿勢や態度） ・記述の確認（プリント，ワークシート）	・行動の観察（学習活動における発言内容や態度） ・記述の確認(プリント，ワークシート)	・行動の観察（学習活動における発言内容や態度） ・記述の確認(プリント，ワークシート) ・定期考査	・行動の観察（学習活動における発言内容） ・記述の確認（プリント，ワークシート） ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	e		
1学期	1書いて伝える	1教科書レッスン1～4 表現への扉1 パーフェクト演習基礎編 1～5	○		◎	○	a:優れた文章を読み、平易な文章を書く基礎を学ぼうとしている。 c:ねじれがなく、適切な文の表現ができる。 e:豊かな語彙力を身につけ、適切な表現を理解している。	a:行動の観察 c．e:記述の確認(ノート、プリント)
	2小論文・レポート入門	2教科書レッスン1～3 パーフェクト演習基礎編 6～10	○		○	○	a:さまざまな種類の小論文の構造を知ろうとしている。 c:小論文の構造を考えながら、意見文を書くことができる。 e:豊かな語彙力を身につけ、適切な表現を理解している。	a:行動の観察 c,e:記述の確認。及び、定期考査。
2学期	2小論文・レポート入門	2教科書レッスン4～6 パーフェクト演習発展編 1～5	○		○	○	a:様々なテーマの小論文を自分の発想を広げながら書こうとしている。 c:テーマに即した小論文を書くことができる。 e:豊かな語彙力を身につけ、適切な表現を理解している。	a:行動の観察 c,e:記述の確認。
	3自己PRと面接	3教科書レッスン1～5 パーフェクト演習発展編 6～10	○	◎	○	○	a:自己の長所について考えようとしている。 b:自己について適切な言葉で他人話したりすることができる。 c:全体から部分への構成を踏まえて書くことができる。 e:伝える対象により、語彙がことなることを理解する。	a,b:行動の観察 c,e:記述の確認,定期考査
3学期	5声とコミュニケーション	5教科書レッスン1～3	○	◎	○	○	a:自分の言葉を他人に伝えようとしている。 b:他人の言葉に耳を傾け、理解することができる。 c:話し言葉を書き言葉に変換する。 e:表現技法や表現の特色を理解する。	a,b:行動の観察 c,e:記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
　　c:書く能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。